

2026年度東京ビジネスデザインアワード よくある質問

目次

1 対象となる素材、技術等に関して

- Q1-1 テーマ応募とはなんですか。……………3
- Q1-2 応募できないジャンルはありますか。……………3
- Q1-3 現在開発中の素材／技術、サービスで応募を検討していますが可能でしょうか。……………3
- Q1-4 「応募しようとしている技術・素材等が既に実用化されている必要があります。」
と募集要項にありますが、実用化の定義を教えてください。……………3
- Q1-5 素材メーカーが素材を最終製品として販売している場合、対象外ですか。……………3

2 応募資格について

- Q2-1 自分たちに応募資格があるかどうか、どのように調べますか。……………3
- Q2-2 個人事業主です。応募できますか。……………4
- Q2-3 今年創業したばかりです。応募できますか。……………4
- Q2-4 東京都内に事業所がありますが、本社は都外です。応募はできますか。……………4
- Q2-5 協力会社との連名での応募はできますか。……………4
- Q2-6 メーカーではない販売代理店ですが、応募できますか。……………4
- Q2-7 同業他社が当社と同様／類似の素材／サービス・技術を持っていますが、応募に支障は
ないですか。……………4
- Q2-8 過去に同じ素材・テーマで応募をしたことがありますが再応募は可能ですか。……………4
- Q2-9 これまで他のコンペに応募した素材・技術／サービスは応募できますか。……………4

3 審査方法、審査基準について

- Q3-1 審査方法や、審査基準を知りたい。……………5

Q3-2 全体の流れを知りたい。……………	5
Q3-3 テーマに採用された場合、必ずデザイナーとマッチングできますか。……………	6
Q3-4 提案最終審査（実現化プレゼンテーション審査）はどのような会ですか。……………	6
4 応募用紙の作成について	
Q4-1 書類の書き方などに関して提出前に相談できますか。……………	6
Q4-2 提出後に応募した内容の変更はできますか。……………	6
Q4-3 応募用紙への押印が必要なのはなぜですか。……………	6
Q4-4 「新事業開発予算（本コンペでの実現化を想定）」の記入は必須ですか。……………	6
5 提出書類・提出方法について	
Q5-1 書けないところは空欄で提出してもいいですか。……………	7
Q5-2 応募用紙は郵送とありますが、持ち込みでもいいですか。……………	7
6 サポート体制・支援について	
Q6-1 参加するとどんなメリット、サポートがありますか。……………	7
Q6-2 製品化や販路の確保を保証してもらえるのでしょうか。……………	7
7 その他	
Q7-1 参加費用は無料となっていますが、開発費用等の企業負担はどのくらいかかりますか。…	7
Q7-2 デザイナーとの協業経験がないので、どのようにやりとりしたらよいかわかりません。…	8
Q7-3 過去のテーマ賞受賞、製品化・事業化したものを知りたいです。……………	8
お問い合わせ先……………	8

1 対象となる素材、技術等に関して

Q1-1 テーマ応募とはなんですか。

A. 自社保有の加工技術や素材、サービスなどを指します。自社内で活用を希望する「技術」や「素材」等を当コンペティションのお題として募集するものです。

テーマ提供企業に選ばされると、全国のデザイナーやクリエイターが、あらゆる可能性を検討し、活用方法を見極め、同時に企業のビジョンを理解し、そのビジョンをどうビジネスの中で可視化するかを思考し、自由に提案してくれます。「自社の強みでどんな新事業ができるか分からない」「デザイナーと組んでみたいが、一人では進められない」そのような悩みを抱える都内中小企業の経営者・担当者の方々に、ぜひご応募いただきたいアワードです。

Q1-2 応募できないジャンルはありますか。

A. 食品は不可となります。それ以外の分野においては幅広く対象となり得るため、ご不明な場合は個別にご相談ください。

Q1-3 現在開発中の素材／技術、サービスで応募を検討していますが可能でしょうか。

A. 試作段階の素材・技術、サービスは対象になりません。販売・提供が開始されており、顧客が購入できる（BtoB、BtoC 問わず）素材・技術・サービスである必要があります。実用化されているが提供/販売実績がまだない等の場合も応募可能です。

Q1-4 応募しようとしている技術・素材等が既に実用化されている必要があります。と募集要項にありますが、実用化の定義を教えてください。

A. 顧客が購入または利用できるようになった状態をいいます。

Q1-5 素材メーカーが素材を最終製品として販売している場合、対象外ですか。

A. 素材メーカーが素材を最終製品として販売している場合はテーマの対象です。ご不明な場合は個別にご相談ください。

2 応募資格について

Q2-1 自分たちに応募資格があるかどうか、どのように調べますか。

A. 公式 WEB サイトに掲載している募集要項(PDF)をご確認ください。

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/company/>

Q2-2 個人事業主です。応募できますか。

A. はい、ご応募いただけます。個人事業主の場合は、確定申告書や住民票記載事項証明書により都内に主たる事業所を有すると認められるものの提出が必要です。

Q2-3 今年創業したばかりです。応募できますか。

A. はい、ご応募いただけます。

Q2-4 東京都内に事業所がありますが、本社は都外です。応募はできますか。

A. 本店所在地が都内に登記されていて、事業活動を行っていることが応募資格ですが、それ以外の場合は、法人事業税において、都内の事業所等における分割基準の割合が最も高いことを証明する資料をご提出ください。ご不明な点がある場合は、事務局までお気軽にご相談ください。

詳細は募集要項(PDF)をご確認ください。 <https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/company/>

Q2-5 協力会社との連名での応募はできますか。

A. 基本的には連名はできません。その技術や素材を作るため協力会社・工場がある場合は、応募用紙にチェックをする項目がありますので、ご確認ください。

Q2-6 メーカーではない販売代理店ですが、応募できますか。

A. 自社保有の加工技術や素材等が対象になるため、ご応募できません。ただし、総代理店などの場合は、内容によって可能な場合があります。事務局までご相談ください。

Q2-7 同業他社が当社と同様／類似の素材／サービス・技術を持っていますが、応募に支障はないですか。

A. はい、支障はなくご応募いただけます。可能な限り、競合との差異についてや、応募するテーマによって何を成し遂げたいかなど企業のビジョンをお書き添えください。

Q2-8 過去に同じ素材・テーマで応募をしたことがありますが再応募は可能ですか。

A. テーマ企業に選ばれたが、デザイナーとマッチングできなかったテーマはご応募いただけます。ただし、一度、テーマ賞（デザイナーとマッチング）に選ばれた全く同一の素材・技術等でご応募いただく場合は、当該素材・技術等に機能が付加され、機能・性能が向上したなど、どの点が改良されたのか、なぜもう一度応募されたいのかその旨を記入してください。

Q2-9 これまで他のコンペ等に応募した素材・技術／サービスは応募できますか。

A. はい、ご応募いただけます。応募する素材や技術に何か受賞歴がある場合は、その旨も応募用紙へご記入ください。また、受賞された他のコンペ側が制限を設けていることも考えられますので、受賞されたコン

ペのルールをご確認ください。

3 審査方法、審査基準について

Q3-1 審査方法や審査基準を知りたい。

A. 参加する企業を選定する「テーマ審査」は書類審査と必要に応じて面談を行います。公式 web サイトに掲載している募集要項(PDF)と審査基準をご確認ください。

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/company/>

デザイン提案審査（テーマに対して寄せられたデザイナーからの提案を審査）は、一次審査を審査委員会が書類審査にて実施し、一次審査通過案を決定します。

二次審査は、一次審査通過案に対して、審査委員会とテーマ企業により、1 件に絞り選出します。これが「テーマ賞」（企業とデザイナーのマッチング成立）となり、後日東京都より発表されます。

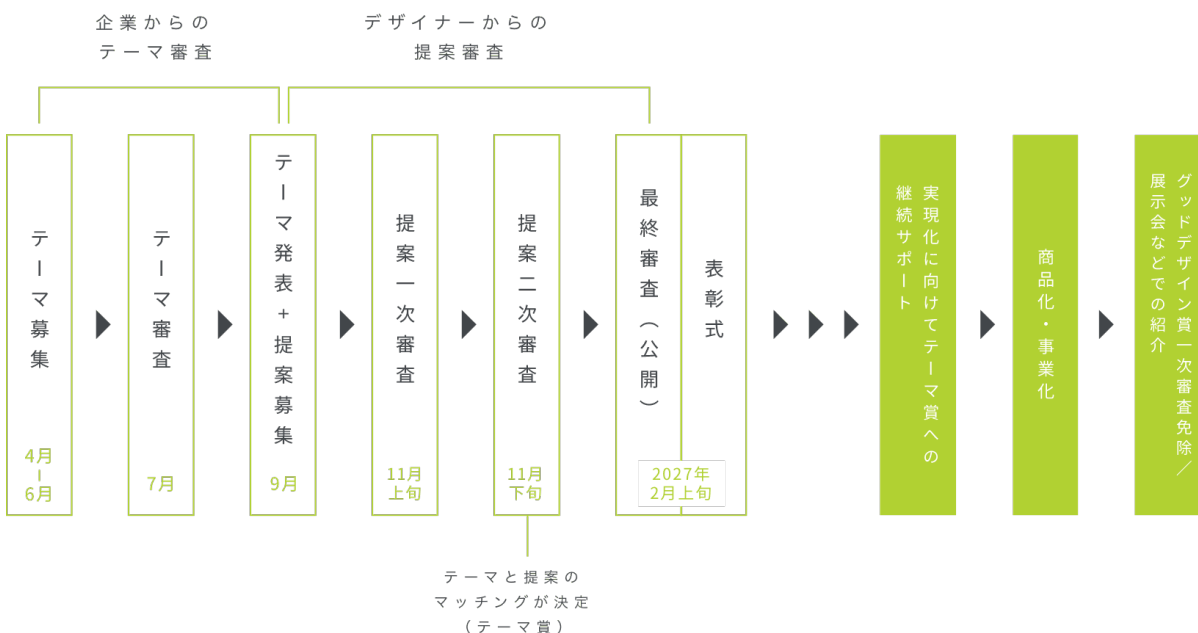
テーマ賞となった企業とデザイナーは、提案最終審査（実現化プレゼンテーション）へ進んでいただきます。

提案最終審査（実現化プレゼンテーション）までは、テーマ企業とデザイナーによるお試し協業期間を設けており、そこで試作品制作やビジネスモデル等の内容を実現化を目指してブラッシュアップしていただきます。提案最終審査では、お試し協業期間で積み重ねられた試作品やデザイナーからのプレゼンテーションを審査します。

デザイン提案審査の審査基準等発表は 9 月上旬を予定しております。

Q3-2 コンペティションの期間とマッチングした内容を実現化するためのサポート期間とはなんですか？全体の流れを教えてください。

A. 「テーマ」と「提案」をマッチングするコンペティションの期間は、2026 年度中に行なっています。4 月のテーマ募集から、2027 年 2 月の最終審査・表彰式までが 2026 年度中に実施します。



本事業は、コンペティションを通して都内中小企業とデザイナーをマッチングして終わりではなく、マッチングした提案を実現化することを目指しているため、コンペティションの期間が終わった 2027 年度から 2028 年度（2029 年 3 月末）は、実現化のための支援期間として、テーマ賞を受賞した方をサポートしています。

Q3-3 テーマに採用された場合、必ずデザイナーとマッチングできますか。

A. デザイン提案一次審査・二次審査の結果、「該当なし」（実現化したい提案がない）の場合はマッチングしません。

Q3-4 最終審査（実現化プレゼンテーション）はどのような会ですか。

A. 企業とデザイナーをマッチングした「テーマ賞」による、協業の成果を公開プレゼンテーション形式で発表する会です。

テーマ賞の受賞者へは、コンペティション期間終了後も実現化へ向けての支援が 2 か年度提供されますが、それに向けて現段階での進捗報告をしていただく会です。内容は、各企業のテーマに対するデザイン提案について、受賞デザイナーがプレゼンテーションをおこない、その質を審査によって評価、最優秀賞 1 件、優秀賞 2 件を決定します。また、協業によって生まれた試作等も提出していただきます。

4 応募用紙の作成について

Q4-1 書類の書き方などに関して提出前に相談できますか。

A. はい、ご相談いただけます。さらに、具体的に応募手続きを進めていただいている方や応募で迷われている方向けに、オンライン（Zoom）にてご相談をお受けいたします。（事前申込制・参加無料）

ご希望の方は、東京ビジネスデザインアワード事務局までメールにて、タイトルに「オンライン相談希望」と明記いただき、企業名／ご担当者もしくは参加者氏名（複数可）／電話番号／Email /業種、

- ・ご希望の日程（土日祝を除く）
- ・時間帯（10:00-12:00、13:00-17:00 の任意の時間からスタート）を、3 つ以上ご提示の上ご連絡ください。

※ 申込後、開催日の前日までに、事務局より個別にメールで詳細なご案内を差し上げます。

※ 通常のメールでのご相談も随時お承りしております。

Q4-2 提出後に応募した内容の変更はできますか。

A. 応募期限内であれば、差し替えとして変更することは可能です。また内容確認により、不足しているものがあれば再提出していただく場合があります。

Q4-3 応募用紙への押印が必要なのはなぜですか。

A. 企業としての応募の意思確認と、最終提案審査において最優秀賞／優秀賞に選ばれた場合は、提案したデザイナーとテーマを提供した企業にそれぞれ賞金が贈られますので、受賞された際に賞金支払いの確認として使用します。

Q4-4 「新事業開発予算（本コンペでの実現化を想定）」の記入は必須ですか。

A. はい、必須です。本アワードは一過性のコンペティションではなく、その後、実際に企業とデザイナーが協業していくこと、実現化していくことを目的としております。そのため、企業の経営者の方々に新事業開発予算をご応募の時点から見込んでいただくこと、新規事業としての実現可能性のために審査にて参照いたします。

5 提出書類・提出方法について

Q5-1 書けないところは空欄で提出してもいいですか。

A. 応募用紙は空欄がないよう必要事項をすべて記入してください。

Q5-2 応募用紙は郵送とありますが、持ち込みでもいいですか。

A. 郵送または配送でお願いいたします。

6 サポート体制・支援について

Q6-1 参加するとどんなメリット、サポートがありますか。

A. 東京ビジネスデザインアワードは、デザイナーと企業と一緒にビジネスを作っていくということを体験していただくための仕組みです。

ビジョンを共に描き伴走するデザイン人材とのマッチング、2か年度継続して審査委員と事務局から事業化・商品化に対するアドバイスや支援を受けることができます。

本コンペティションに参加することで、社外の人材から自社の強みを活かしたアイデアを得ることができ、また実現化の道のりでは、実践を通じて商品開発やデザイン活用のプロセスを学ぶことができます。

開発・事業化・知財取得・広報まで、審査委員会をはじめとする専門家チームが一貫して伴走するプログラムとなっていますので、デザイン活用が初めての方には特におすすめです。

Q6-2 製品化や販路の確保を保証してもらえるのでしょうか。

A. 保証は出来かねます。本事業は、都内中小企業の皆様のチャンスを広げ、補助するものであり、実現化や、売上、取引先を無条件に保証するものではありません。実現化のために製品の競争優位性向上に関する助言や、展示会での効果的な展示手法に関する助言など、目指す実現化像に向かって様々なサポートを行っておりますので、ご不安な点があれば随時ご相談ください。

7 その他

Q7-1 参加費用は無料となっていますが、開発費用等の企業負担はどのくらいかかりますか？

A. テーマに対してマッチングされた提案によって開発費用は様々です。事業主体者として、どのようなことをしたいのか、本コンペティションではなくても、新規事業を始めるにあたり用意できる費用はどのくらいか各社それぞれです。ご不安な点はお気軽に事務局へご相談ください。

Q7-2 デザイナーとの協業経験がないので、どのようにやりとりしたらよいかわかりません。

A.マッチングをしたデザイナーとは、協業のためのサポートを事務局でしております。ご不安な点がございましたら事務局までご連絡ください。

Q7-3 過去のテーマ賞受賞、製品化・事業化したものを知りたいです。

A.公式 WEB サイトよりご確認ください。

公式 WEB サイト

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/award.html>

開催結果はアーカイブへ(2012 年度から 2025 年度のものを揃えています)

最新の 2025 年度はこちら

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/archive/2025/>

事業化・製品化したものは、ビジネス化事例をご参照ください

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/example/>

その他のお問い合わせ、ご質問は下記へメールにてお気軽にご連絡ください。

東京ビジネスデザインアワード事務局（公益財団法人日本デザイン振興会 内）

〒107-6205

東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

E-mail : tokyo-design@jidp.or.jp

※ メールアドレス内の全角文字「@」を半角文字「@」に変換してご使用ください。

公式 WEB サイト

<https://design-award.metro.tokyo.lg.jp/award.html>

※本事業は、東京都から公益財団法人日本デザイン振興会が受託し、企画・運営しています。